

教育委員会会議録（12月定例会）

日 時

令和6年12月26日（木）
午後1時30分から午後2時9分まで

場 所

日立市役所 304・305号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	小野 智久
委 員	額賀 隆

委員以外の出席者

教育部長	宮内 雅弘
総務課長	作山 直弘
総務課課長	高橋美奈子
学校施設課長	高瀬 稔
学務課長	北見 裕
学務課課長	富岡 道雄
学校再編課長	酒地 康彦
学校再編課課長	鈴木 康世
生涯学習課長	齋藤 広美
スポーツ振興課長	玉置 伸一
スポーツ振興課課長	市原 慎也
指導課長	青木 房子
指導課課長	佐川 正城
記念図書館長	鈴木 弘嗣
郷土博物館長	島崎 信彦
北部学校給食共同調理場長	根田 容子
教育研究所長	諸橋 正和
総務課課長補佐（兼）庶務係長	塙 智光
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	西野 晃平
総務課係長	澤田 貴子
総務課主事	上遠野 宰

議 事

報 告

報告第12号 教育委員会11月定例会の会議録について

議 案

議案第44号 日立市児童生徒等の就学に関する規則の一部を改正する規則の制定について

その他

- (1) 令和6年第4回市議会定例会について
- (2) 令和7年度日立市奨学生の選定状況について
- (3) 令和6年度日立市優秀教職員等褒賞事業の受賞者について
- (4) 令和7年度日立市立幼稚園等の園児募集の結果等について
- (5) 部活動地域移行の進捗状況について
- (6) ひたちシーサイドマラソン2024の結果について
- (7) 第4回日立市長杯ラジオ体操コンクールの結果について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 それでは、只今から、教育委員会12月定例会を開会します。
まず初めに、本年12月25日付けで新たに教育委員に就任されました、額賀 隆 委員から、御挨拶をいただきたいと思ひます。

額 賀 委 員 昨日、教育委員として任命を受けました、額賀 隆でございます。
子どもたちの輝く未来のために、そして、日立の教育の発展のために、全力で頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

教 育 長 どうぞよろしくお願ひいたします。
また、同日付けで、上村 由美 委員を、教育長職務代理者として指名いたしましたので、報告いたします。
併せて、今後の教育委員会定例会の会議録の署名者として、上村委員を指名いたします。
続きまして、傍聴の許可についてです。
本日は、傍聴希望者が1名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

2 報 告

報 告 第 1 2 号 教育委員会11月定例会の会議録について

教 育 長 まず、報告第12号について、御意見等はございませんか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 4 4 号 日立市児童生徒等の就学に関する規則の一部を改正する規則の制定について

教 育 長 続いて、議事に移ります。
議案第44号について、学務課課長から説明をお願いします。

学 務 課 課 長 中学校の統合に伴いまして、新たな学区を定めるため、本規則を制定するものです。

来年度から、平沢中学校と駒王中学校、久慈中学校と坂本中学校を統合し、新たに駒王中学校及び松風中学校を設置いたしますことから、この2校と影響を受ける助川中学校の学区を定めるものでございます。

平沢中学校の学区は、仲町小学校の学区の一部と助川小学校の学区の一部から構成されていることから、平沢中学校と駒王中学校の統合に伴いまして、助川小学校の学区を助川中学校の学区とし、仲町小学校の学区を駒王中学校の学区とするものでございます。

久慈中学校及び坂本中学校の学区は、久慈小学校と坂本東小学校の学区から構成されていることから、この2つの学区を、新設される松風中学校の学区にするものでございます。

なお、本規則の施行期日は、令和7年4月1日となります。

教 育 長 それでは、議案第44号について、可決することによろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第44号については、原案可決と決しました。

4 そ の 他

(1) 令和6年第4回市議会定例会について

教 育 長 続いて、その他に移ります。
その他(1)について、御質問や御意見はございますか。

委 員 「公立小中学校の校則の見直しについて」の中の、「校則の中に含まれる合理的でない部分の見直し」と「校則について子どもの人権に配慮した見直し」では、具体的にどういったものが挙げられたのかお聞きしたいです。

指 導 課 長 「校則の中に含まれる合理的でない部分の見直し」では、全て同じランドセルを背負うこと、長い髪を縛るなどについて、お話を承りました。

また、「校則について子どもの人権に配慮した見直し」では、子どもたちが個性を出す機会を奪わないことが、「人権に配慮した」という言葉で表現していると認識しています。

委 員 同じランドセルを背負うことの、どこが合理的でないのかお伺いしたいです。

指 導 課 長 各々に持ちたい色があり、形があるという御説明を受けておりま

す。

委員 学級会や生徒会で見直しを行っている学校があると書かれていますが、どのような点について見直しが行われているのかお聞きしたいです。

指導課長 まず、髪型の見直しが挙げられます。
特に、男子のツーブロックの許容が意見として挙がり、学校の中で話し合いが行われたと伺いました。
結果としては、制服に合った髪型であれば、許容することに決まりました。
また、靴の色を白以外の色も認めてもらいたいという意見が挙がりました。
教師側と協議した結果、黒色と紺色の着用が認められたと伺っております。

(2) 令和7年度日立市奨学生の選定状況について

教育長 次に、その他(2)について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 1番の概要でございます。
経済的な理由によって、修学が困難な若者の進学を支援するため、来年4月の進学予定者を対象に、応募受付、選定作業を行ってまいりました。
本年8月、選考委員会による審議の結果、応募者50人全員が、選考基準を満たしており、今後の「進学先決定」を条件に、全員を選定することといたしました。
その後、11月に日立市奨学金の利用意向調査を行ったところ、3人が利用意向を取り下げたため、選定人数は47人となっております。
2番、募集及び選定の状況です。
募集人数51人程度に対し、応募人数は50人、全員を選考委員会で選定しましたが、利用意向調査の結果、そのうち3人から、他の奨学金利用のため、取下げの申し出があり、選定人数は現在47人でございます。
3番、選定の経過等です。
これまでの経過ですが、本年5月から7月にかけて、応募受付を行いました。
8月には書類審査、個別面接を行い、選考委員会を開催しました。
その後、9月に選定結果を奨学生選定者へ通知し、11月の利用意向調査を経まして、今後は、随時、奨学生選定者から合格証書など「進学先決定」を証明する書類を提出していただき、来年3月に

は、令和7年度奨学生の決定を予定しております。

(3) 令和6年度日立市優秀教職員等褒賞事業の受賞者について

教 育 長 次に、その他(3)について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 令和6年度日立市優秀教職員等褒賞事業の受賞者について、御説明いたします。

1 番、趣旨です。

この事業は、本市教育の振興発展に寄与した学校、または、教職員を褒賞することにより、教職員の勤務意欲を向上させるとともに、先進的な実践を共有し、本市教育の振興を図るもので、平成22年度から実施しております。

対象は、学校の部が、市立の小・中・義務教育・特別支援学校及び幼稚園、教職員の部は、学校・幼稚園に勤務する教職員で、常勤、非常勤等は問わないこととしております。

3 番、受賞者です。

2 番でございますアからカまでの分野で、特に顕著な成果を上げた学校・教職員につきまして、教育委員会事務局の部課所長で構成する審査委員会が審査及び内申し、教育長が決定したものでございます。

今年度は、資料にございますとおり、学校の部で6校、教職員の部で13人が受賞しております。

学校の部におきましては、県の事業を活用して、金融経済教育や、学力向上のための授業づくりに取り組んだもの、茨城県NIE推進協議会の「NIE実践指定校として新聞の特性を生かした教育の実践に取り組んだ」ものなど、学習指導の分野における取組となっております。

また、教職員の部におきましては、学習指導を始め、病弱学級の経営、特別支援教育、生徒指導、学校事務の効率化や学校環境整備など、幅広い分野から受賞者が出ており、日ごろの業務に取り組む姿が、各学校の校長先生に評価され、御推薦をいただいたものです。

委 員 学校部門の、授業づくりの実証研究に取り組んだ算数と英語について、具体的に何を行ったのか教えていただきたいです。

指 導 課 長 大久保中学校では、多くのALTの先生と触れ合い、ネイティブな英語を聞くということで、派遣事業者を通して、6人の先生にオンラインでつながり、英語でやり取りを体験する取組を行っていただきました。

算数においては、基礎、基本の定着とともに表現力を高め、若手を中心に授業改善をする取組を行っていただきました。

(4) 令和7年度日立市立幼稚園等の園児募集の結果等について

教 育 長 次に、その他(4)について、子ども施設課長から説明をお願いします。
ます。

子ども施設課長 日立市立幼稚園、認定こども園（1号認定）の募集結果です
4つの園と認定こども園（1号認定）について園児募集を行いま
まして、4歳児クラスが25人、5歳児クラスが1人の計26人の
入園希望者がございました。

前年の41人と比較して15人の減少となっております。

また、令和7年4月の園児数見込みでございますが、受付人数
と進級する在園児の合計となり、園児数見込みは計70人で、前年
の79人と比較して9人の減少となっております。

次に、2番、私立幼稚園、認定こども園（1号認定）の応募状況
でございます。

令和7年4月に、幼稚園2園が認定こども園に移行し、幼稚園
が8園から6園に、認定こども園が12園から14園になる予定で
ございますが、幼稚園、認定こども園、合計20園の受付人数は、
176人ございまして、前年に比べ49人の減少、進級する在園児
を含む来年4月の園児数見込みは、774人で、前年に比べ111
人の減少となっております。

次に、3番、日立市立幼稚園の閉園予定についてでございます。

令和6年4月から休園をしております田尻幼稚園につきましては、
令和6年度末で閉園を予定しております。

委 員 園児数が減少傾向にあります。今後の市立と私立の幼稚園の運
営方針が決まっていれば教えていただきたいです。

子ども施設課長 少子化の進行に伴いまして、幼稚園の入園希望者が減っておりま
す。

幼稚園児の減少につきましては、公立の幼児施設が、受入れ枠を
調整する方向で進めておりまして、2年連続入園児数が、10人未
満になったところについては、閉園や統合などを考える方向で現在
は進めているところでございます。

公立の園につきましては、支援が必要な子どもの受皿のような役
割もあり、数字だけでは測れない部分もありますことから、今後の
在り方については、地域のバランスも含めまして、早急に検討する
必要があると考えております。

(5) 部活動地域移行の進捗状況について

教 育 長 次に、その他(5)について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 1 番、目的です。

少子化の進行により、これまでと同様の学校単位での部活動が困難になっていること、また、専門性にかかわらず、教員が顧問を務める指導体制の継続が難しいことから、学校で行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動の機会を確保することを目的としています。

2 番、これまでの取組です。

まず、環境整備のために、部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会を令和4年度に設置し、今までに計7回実施してまいりました。

その他、スポーツ少年団、中学校体育連盟との懇話会、日立市立全中学校を訪問しての概要説明、また、中学校生徒、市地域エキスパート、スポーツ少年団へのアンケート調査、さらに、学校長会、スポーツ振興課、スポーツ協会、吹奏楽連盟県北地区などの関係団体との協議を現在も行っております。

次に、各団体の現在の取組状況です。

総合型スポーツクラブである、UPOPO十王スポーツ文化クラブ、滑川スポーツファミリークラブ、ひたちみなみスポーツクラブの3団体で第1、第3土曜日、日曜日に中学生の受入れを行っております。

また、複数の少年団では、学区の枠にとらわれずに、中学生の受入れを行っております。

さらに、日立市文化少年団では、22団が休日に中学生を受入れていきます。

吹奏楽については、日立シビックセンターが個人練習場所の提供を月1回しております。

その他、保護者が主体となり、中学生が活動できる場所を確保し、休日に活動している団体もございます。

3 番、今後の取組です。

休日に中学生の受入れに協力できる地域クラブ等が掲載されている冊子の情報を、QRコードにより閲覧できる案内チラシを来年度作成し、令和8年1月に各中学校で開催される入学者保護者説明会で説明してまいります。

4 番、児童生徒・保護者への啓発チラシについてです。

令和7年1月に各中学校1、2年生、小学校5、6年生に配布する資料となります。

委員 地域移行について、学校、生徒、保護者、地域の方々は、どう捉えていますか。

また、練習試合については現在検討中とチラシに書かれていますが、方向性が分かっているならば、現段階で分かる範囲で教えていただきたいです。

指導課長 地域、保護者、生徒、学校からの共通した要望といたしましては、通えるところで自分のやりたい活動の受入れ先があるということが1番の要望であると捉えております。

練習試合につきましては、現在のところ、総合体育大会、新人体育大会のある月は、第1、第3土曜日、日曜日に関係なく、練習試合を行うこととしております。

委員 生徒や保護者へのアンケートは、今後も実施していきますか。

指導課長 現在の生徒へのアンケート調査は、何の競技を求めている、現在こういった条件で地域活動を望むのかというアンケートですので、それに基づいて今動いているところであります。

今後は、進捗状況に応じて、少年団とか総合型スポーツクラブなどにアンケート調査を繰り返し行ってまいりたいと考えております。

委員 今後も、生徒の皆様のニーズを拾えるようなアンケートを実施していただき、サポートをしていただきたいと思います。

(6) ひたちシーサイドマラソン2024の結果について

教育長 次に、その他(6)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 11月17日に日本陸連公認マラソン大会ひたちシーサイドマラソン2024を大きな事故なく終えることができたところです。

本大会の最終エントリー者数は4,877人で、当日の出走者が4,396人、完走者数が3,671人となり、完走率は83.5%となりました。

大会当日は、最高気温24.7度、平均湿度は88%と、夏日に迫る大変厳しい中での大会となりました。

事前の気象予報を受けまして、水や紙コップの給水スタッフを増やして対応いたしましたが、給水場の水を体にかけるランナーが多く出たこともあり、水や紙コップが不足いたしました。後半には、十分に補給できない参加者が見受けられたところです。

給水に影響が出ましたのは、完走者の5時間台以降のランナーで

あったものと認識をしております。

準備する給水資材の数量の目安につきましては、次回に向けて陸上協会とよく検証を行ってまいりたいと考えております。

5番、関門別リタイヤ人数でございます。

第4関門の22km地点が180人と最も多くなっております。

次に、コース途中の164人となっております。全体で出走者の16.5%に当たる725人がリタイヤとなりました。

一方で、出走した参加者からは、温かい声も多く寄せられており、国内最大のポータルサイトのランネットに、参加者が投稿する大会レポートがございますが、中でも、ボランティアや市民の応援、地元食の提供などに対するホスピタリティーに関して高い評価を得ています。

6番、関係者からの意見聴取でございます。

今大会の課題を踏まえて、改善を図り、より良い大会につなげるためには、参加者や、実際に現場で従事いただいたボランティアを始めまして、関係者からの意見が極めて重要となります。

現在、それらの意見を集約しておりますので、今後、改善を図りながら次回開催に向けて準備してまいりたいと考えております。

委 員 今大会の収支はどのようになっていますか。

スポーツ振興課長 歳入と歳出が同じぐらいになっています。

来年度も引き続き、市の補助が得られれば、十分に対応できると考えております。

(7) 第4回日立市長杯ラジオ体操コンクールの結果について

教 育 長 次に、その他(7)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 特別審査員のNHKテレビ、ラジオ体操指導者の岡本美佳先生、他6名の審査委員の皆様に審査を行っていただきました。審査では、正しい姿勢で指先や背筋がしっかりと伸びているかなどの基本的動作を始めとして、明るく楽しく元気よく行っているかなどの審査基準に基づき審査を行い、部門別に順位を決定いたしました。

実施結果につきましては、表に記載のとおりでございます。

なお、事業所の部の第3位、株式会社Union Worksオブリガードは、病気や障害をお持ちの方の就労を支援する事業所で、利用者の方々が、職員とともに演技を行い、1人1人の可能性にチャレンジしている姿が会場にいる皆様に、元気と勇気を届けてくれたということで、日立市長特別賞を受賞いたしました。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和7年1月23日（木）午後1時30分から、日立市役所3階304・305号会議室で開催予定です。

6 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会12月定例会を終了いたします。

以 上